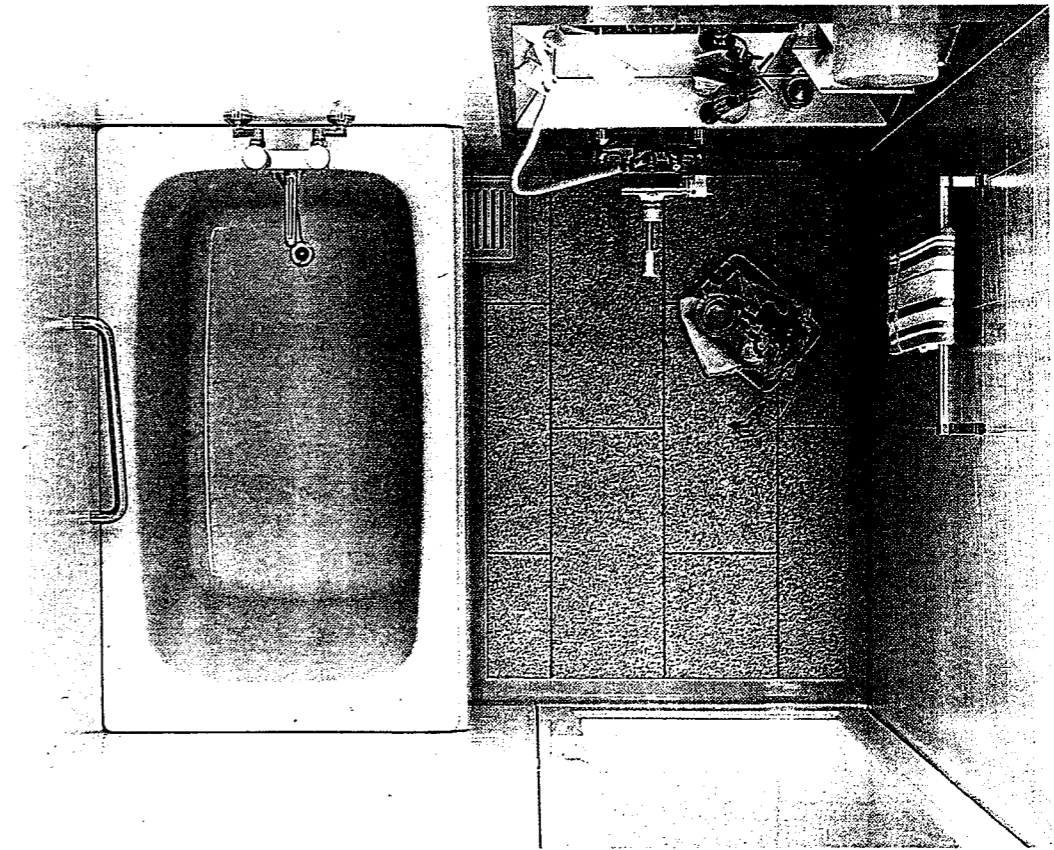


UNIT BATHROOM

L・M・F・K・Gシリーズ

取扱説明書

- ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく使用してください。
- この説明書は必ず保管してください。
- 転居される場合は新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくためにこの取扱説明書を新しく入居される方、またはお取次ぎされる方にお渡しください。



このたびは、ユニットバスルームをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

保管用
よくお読みください

安全に関するご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

※ご使用前に、この“安全に関するご注意”を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
 ※ここに示した注意事項は、「警告」「注意」に区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

【表示マークの説明】

※誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。

警告 この表示は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

【絵表示の説明】

※お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

注意喚起 この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

禁止 この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

強制 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

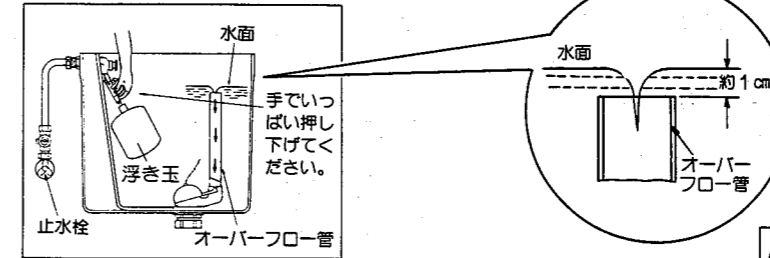
接触禁止 この絵表示は触れてはいけない「接触禁止」の内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

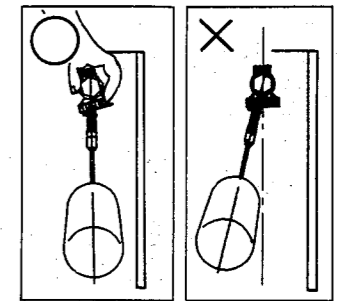
おねがい

●給水圧が高いとき、ロータンクから水をあふれさせないために、

●止水栓を全開にし、浮き玉を押し下げてオーバーフロー管へ水をあふれさせます。このとき水面が、オーバーフロー管より1cm以上上昇しない程度に止水栓で調整します。



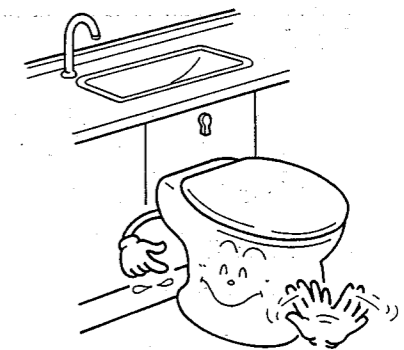
●浮き玉は、まっすぐになるように取り付けてください。



こんな時	原因	処置
汚物や紙が流れない。	汚物や紙がつまっている。 ラバーカップ（市販）を使って、排水口をふさいで強く押し下たり引いたりする。	ラバーカップ（市販）などにより流れをよくする。 ラバーカップ ビニールシート 汚れが飛散するのをふせぐ。

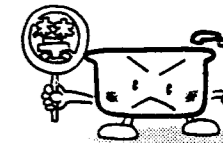
〈トイレ付タイプ〉

●時期によって、ロータンクの結露水や手洗いボールのスキ間からの水がカウンター前板の下部付近から少し出てくることありますが、故障ではありません。ご安心ください。



ここから少しはOK!

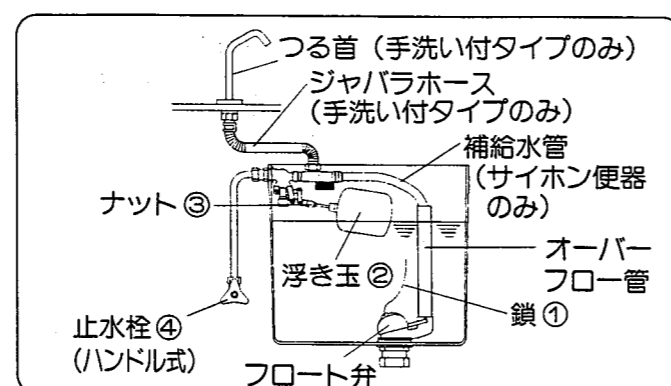
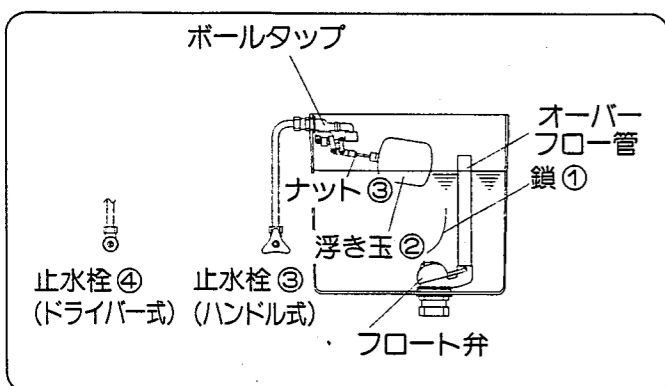
故障かな?と思った時



修理を依頼される前に、次の事項を確かめてください。

こんな時	原因	処置
蛍光灯が点灯しない	グローランプがゆるんでいる。	グローランプをしめる。
	管球(蛍光灯)の角度がずれている。	管球の角度のズレをなおす。
	グローランプ・管球の寿命が切れている。	グローランプ・管球を交換する。
		(注) 電源を切ってから作業を行なってください。
シャワーの勢いが弱い または、変化する	給湯能力が不足している。	シャワー中は、できるだけ他で湯を使わないようにする。
湯温が上がらない または、変動しやすい	給湯器の湯温設定が低い。	給湯器の設定温度を上げる。 (50°C程度にする。)
	給湯器の適水量が少なく うまく点火しない。	給湯器の設定温度を下げ、 適水量を多くする。(50°C程度にする。)
	給湯能力が不足している。	シャワー中は、できるだけ他で湯を使わないようにする。
ロータンクの水が止まらない ●オーバーフロー管から水があふれている。	鎖①がはずれている。	鎖①を元の位置に引っかける。
	浮き玉②がはずれている。	元にもどし、ナット③を締める。
	給水の水圧が強すぎる。	止水栓④を締めて、水圧を下げる。 (次ページご参照ください。)
●オーバーフロー管からは水があふれていない。	排水弁のフロート弁がいたんでいるために水がとまらない場合があります。	いたんでいる場合は、新しいものと交換してください。

ロータンクまわり各部のなまえ



警告 ●事故をおこさないために

お風呂に入る前に

- 幼児や身体の不自由な方の一人での入浴はお避けください。
(浴槽でおぼれたり、ケガやヤケドをするおそれがあります。)
- 浴室内で幼児だけを遊ばせないでください。
(浴槽でおぼれたり、ケガやヤケドをするおそれがあります。)

照明器具について

- 照明器具にタオルなどを、掛けしないでください。
(過熱して、火災になるおそれがあります。)
- 照明器具のカバーを外して使わないでください。
(感電したり、電球が割れてケガをするおそれがあります。)
- 照明器具に直接水やお湯をかけしないでください。
(感電のおそれがあります。)

のぼるとあぶない

- 風呂フタの上に体重をかけたり、のったりしないでください。
(フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。)

電気製品について

- 浴室内に電気製品を持ち込まないでください。
(感電のおそれがあります。)

浴室外用途・修理改造について

- 浴室以外の用途に使用したり、修理改造は絶対に行わないでください。
(思わぬ事故や故障の原因となります。)

ご使用のとき

- ぬれた手で、スイッチ類を押さないでください。
(感電の原因となります。)

お手入れのとき

<コンセント付タイプ>

- コンセントに水をかけないでください。
(感電・漏電の原因となります。)

(注)
※コンセントを付ける場合には、内線規定により制限があります。

25

2

安全に関するご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠ 警告 ●事故をおこさないために

お手入れのとき

●照明（ランプ交換）・換気扇などの電気部品のお手入れの場合は、必ず電源を切ってから行ってください。
（感電やケガをするおそれがあります。）



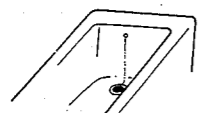
付帯設備について

●風呂水栓やオプションなどの付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、及び本体の注意表示にそってお使いください。
（誤った使い方をすると、思わぬ事故や故障の原因となります。）



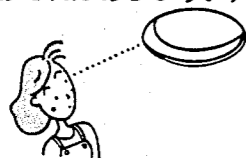
空焚きの防止

●風呂釜をご使用の場合は、排水栓をきちんと排水口に押し込んでください。
（水がもれていると、空だきとなり火災のおそれがあります。）



⚠ 注意 ●事故をおこさないために

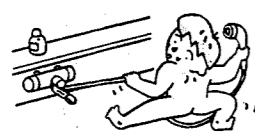
●天井点検口は設備点検時以外は絶対に開けないでください。
（落下事故や湯気がもれて建物に影響をあたえるおそれがあります。）



●ドアの急激な開閉はしないでください。
（手や足をはさまれて、ケガをするおそれがあります。）



●器具にぶらさがったり、強く引っ張ったりしないでください。
（転倒などによるケガをするおそれがあります。）



●出湯時や止水直後は、金属部にふれないでください。
（ヤケドをするおそれがあります。）
●サーモ付混合栓以外でシャワーをお使いの際は、他の水栓を使わないでください。
（湯温が急上昇してヤケドをするおそれがあります。）



5 換気扇、換気乾燥機のお手入れのしかた

安全に関するご注意

※換気扇・換気乾燥機のお手入れをするときは、事前に下記注意事項をよくお読みください。

⚠ 警告



●お手入れをする場合は、必ず電源を切ってから行ってください。
（感電やケガの原因となります。）

⚠ 注意



●元通りに、しっかり取り付けてください。
（落下事故の原因となります。）

おねがい

浴槽内に台を置く場合は、バスタオルなどを敷き、台の足などで傷つかないようにしてください。

お手入れのしかた

いつまでも美しく、清潔に、そして快適にご使用いただくために。

1 電源スイッチを「切」にする



⚠ 警告

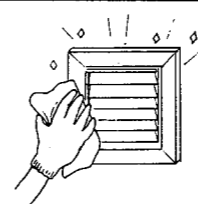
●電源のスイッチを「切」にする。
（感電やヤケドの原因となります。）

2 安定した台を用意する

⚠ 警告

●浴槽のふちやカウンター、洗面器、便器、風呂フタなどの上に乗らないでください。
（転倒・転落事故の原因となります。）

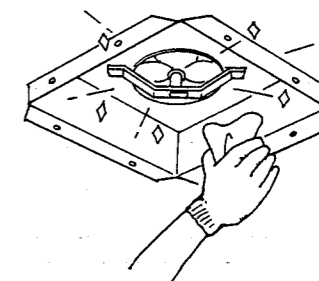
3 厚手の手袋をして掃除する



⚠ 注意

●厚手の手袋をして掃除する。
（ケガをするおそれがあります。）

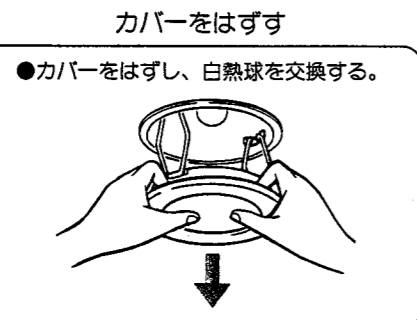
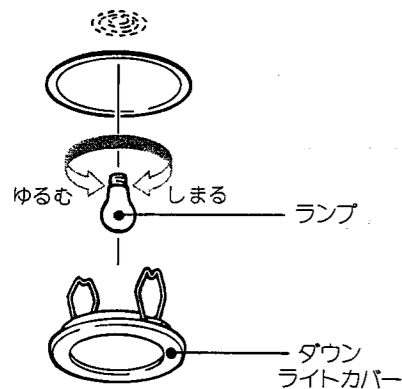
4 ルーバーをはずして掃除する



■くわしくは換気扇、換気乾燥機の取扱説明書をご覧ください。

3 ダウンライト

ダウンライトカバーをはずし、ランプを交換する



安全に関するご注意

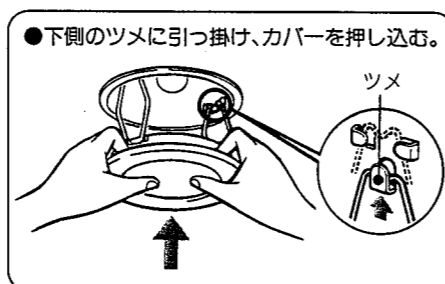
△注意

- 両方とも確実にツメに引っ掛けて押し込んでください。
(落下事故の原因となります。)
(水侵入による感電のおそれがあります。)
- 指定されているランプ以外は使わないでください。
(火災のおそれがあります。)



禁止

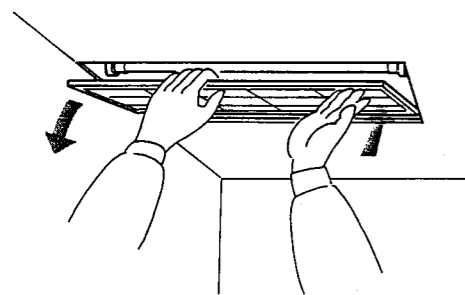
カバーを取り付ける



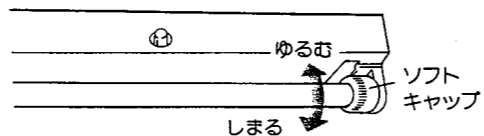
3 ルーバー照明（蛍光ランプ）のとき

■指定されているランプをお使いください。

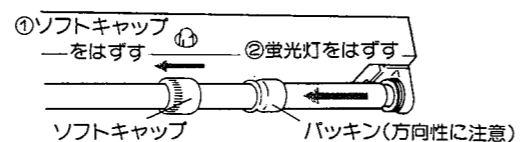
①ルーバーをはずす
(照明カバー)



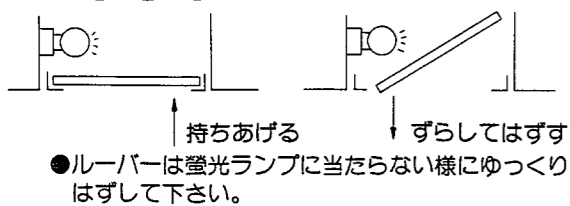
②ソフトキャップをゆるめる



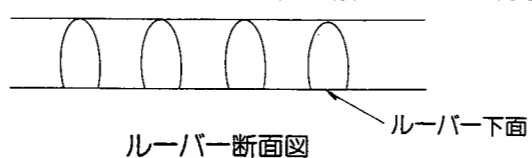
③蛍光灯をはずす



おねがい



●ルーバーを入れる際、ルーバーの上下を確認して入れてください。

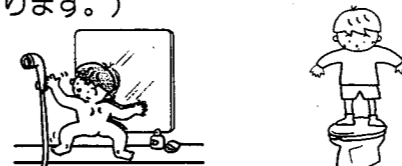


△注意 ●事故をおこさないために



禁止

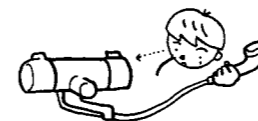
- 浴槽のふちや、カウンター・洗面器、便器の上などには絶対のらないでください。
(足をすべらせて、ケガをするおそれがあります。)



- 浴室に、ガラス製品など割れやすいものを持ち込まないでください。
(割れてケガをするおそれがあります。)



- 入浴前に必ず湯温を確認してください。
(ヤケドをするおそれがあります。)
- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
(高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。)



- 浴室は、石けん液などですべりやすくなっていますから、気をつけてください。
(ころんで、ケガをするおそれがあります。)



- 掃除をする時は、必ず浴室用中性洗剤を容器に表示されている注意書きにしたがい正しくお使いください。
(使い方を誤ると、人体に影響がでたり、本体に不具合を生じるおそれがあります。)



- 風呂フタは、必ず浴槽に合ったものをお使いください。
(フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。)

△注意 ●浴室の周辺を傷めないために

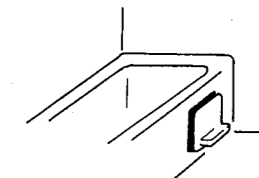


禁止

- 目地部を強くこすらないでください。
- 目地が切れたり、浮いたまま使用しないでください。
(水もれのおそれがあります。)



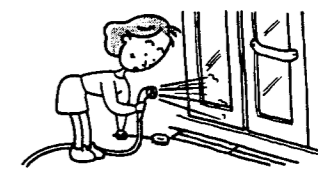
- 浴室の点検口は、設備点検時以外は絶対にあけないでください。
(水もれのおそれがあります。)



- フギなどを打たないでください。
(破損・水もれのおそれがあります。)



- ドアに強く水をかけないでください。
(水もれのおそれがあります。)



安全に関するご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

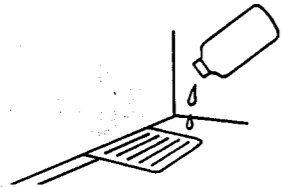
⚠ 注意 ●浴室の周辺を傷めないために

●ハンドル操作（混合水栓、止水栓）の急閉止は、おやめください。
（配管から水もれをおこし、家財などをぬらすおそれがあります。）

●浴槽排水栓クサリ止め金具を無理に回したりしないでください。
（取付部がゆるむと、水もれします。）



●排水口にシンナー等の溶剤や薬品類を流さないでください。
（配管部がいたみ水もれのおそれがあります。）



●浴槽に無理な力をかけたり、物を落とさないでください。
（ヒビが入って水がもれるおそれがあります。）



●イオウ系・アルカリ系入浴剤は使用しないでください。
（浴槽や器具・配管部などをいためたり、水もれのおそれがあります。）

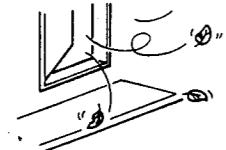


〈トイレ付タイプ〉
●便器にはトイレ用ペーパー以外は流さないでください。
（排水がつまり、汚水があふれて家財などを汚すおそれがあります。）

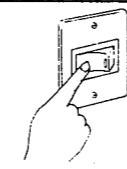


〈トイレ付タイプ〉
●トイレ用洗剤は、便器（陶器部分）以外には、使わないでください。
（他の部分に使用すると、不具合を生じるおそれがあります。）

〈寒冷地水栓～水抜き仕様〉
●凍結が予想される時は、水抜きをしてください。
（凍結破損で水もれし、家財などをぬらすおそれがあります。）



1 電源スイッチを「切」にする



⚠ 警告

●電源のスイッチを「切」にする。
（感電やヤケドの原因となります。）

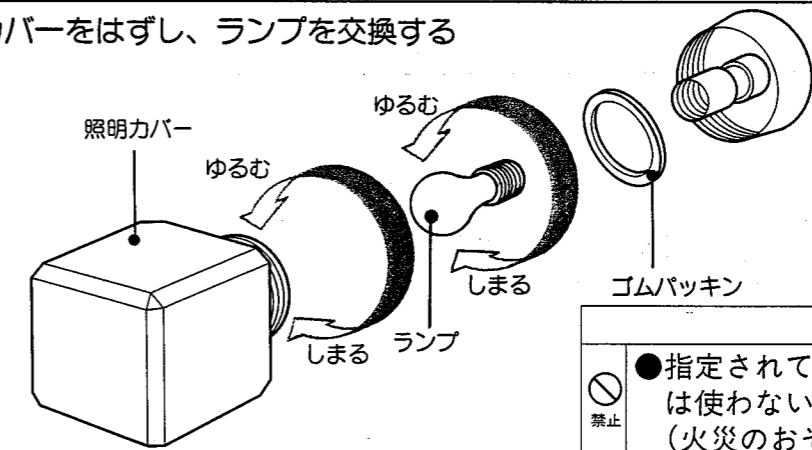
2 安定した台を用意する

⚠ 警告

●浴槽のふちやカウンター、洗面器、便器、風呂フタなどの上に乗らないでください。
（転倒・転落事故の原因となります。）

3 白熱灯のとき

照明カバーをはずし、ランプを交換する



⚠ 注意

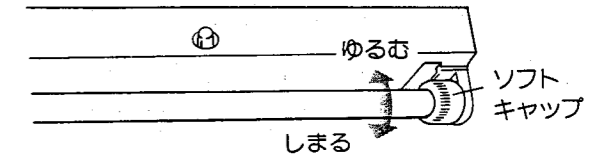
●指定されているランプ（白熱球57W）以外には使わないでください。
（火災のおそれがあります。）

3 ニッチ組みライトのとき

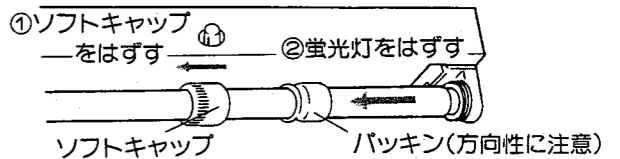
①照明カバーをはずす



②ソフトキャップをゆるめる



③蛍光灯をはずす



4 照明ランプの交換

安全に関するご注意

※照明ランプの交換をするときは、事前に下記注意事項をよくお読みください。

警告



禁止



- ランプ交換の場合は、必ず電源を切ってから行ってください。
(感電やヤケドの原因となります。)
- ランプを割らないでください。
(ケガの原因となります。)

注意



禁止



禁止

- 照明器具はカバーを外して使わないでください。
(感電したり割れてケガをするおそれがあります。)
- 元通りに、しっかり取り付けてください。
(落下事故の原因となります。)
- パッキン付のランプを交換するときは、使用するランプにパッキン、ソフトキャップを必ず取り付けてください。
(感電や故障の原因となります。)
- 電源スイッチを「切」にした直後はランプが熱いので、
時間を置いてからランプを交換してください。
(ヤケドの原因となります。)
- 指定されているランプ以外は使わないでください。
(火災のおそれがあります。)

おねがい

浴槽内に台を置く場合は、バスタオルなどを敷き、台の足などで傷がつかないようにしてください。

もくじ

■各部のなまえ	P7
■使いかた	
1 混合水栓	P9
2 シャワー・換気扇	P14
3 換気乾燥機	P15
4 ドアロック	P16
■使用上のご注意	P18
■お手入れのしかた	
1 天井・壁・床・浴槽・ドア・カウンター・洗面器・便器	P19
2 エプロンの脱着のしかた	P19
3 排水トラップの掃除のしかた	P20
4 照明ランプの交換	P21
5 換気扇・換気乾燥機のお手入れ	P24
■故障かな?と思ったとき	P25

各部のなまえ

※この図は組み合わせの一例です。物件ごとに組み合わせが異なる場合がありますので予めご了承ください。

換気扇

- 換気扇
- 換気乾燥機

天井

- アーチ型
- フラット型

天井照明

- アーチ天井蛍光灯
- ダウンライト

壁面照明

- ニッチ組み込みライト(蛍光灯)
- 白熱灯

天井点検口

浴槽

床

排水口カバー

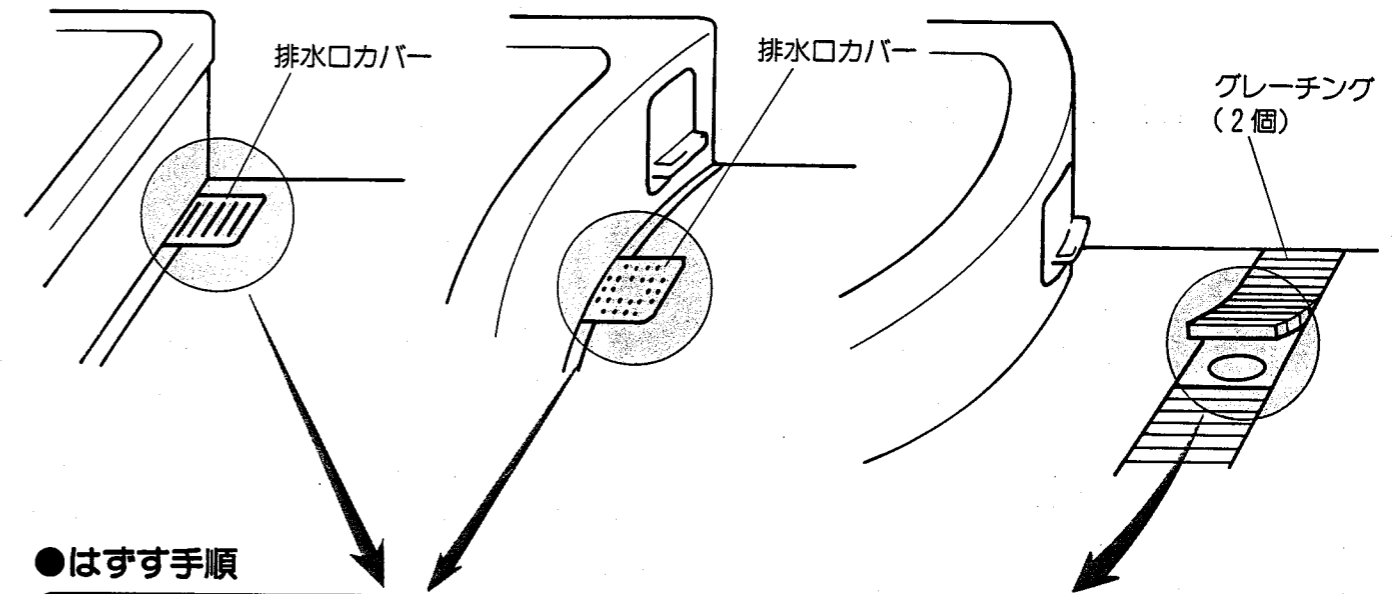
排水トラップ

(バス専用タイプ)

ドア

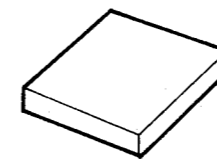
- 2枚折ドア
- スイングドア

3 排水トラップの掃除のしかた

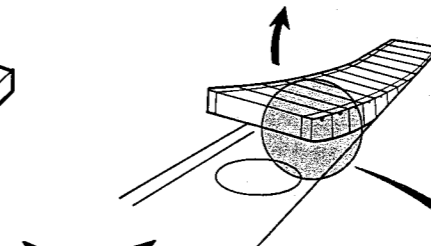


●はずす手順

①排水口カバーをはずす



①グレーチングをはずす



安全に関するご注意

△ 注意

●排水口カバー・グレーチングをはずしたままご使用にならないでください。(転倒事故の原因となります。)

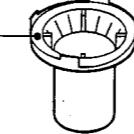
注:凹のある面が上面です。

②ヘアキャッチをはずす

(注:トイレ付タイプにはありません)

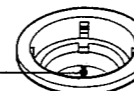


③封水筒をはずす



とめる ← はずす

排水トラップ本体



④中を掃除する

おねがい

- 中性洗剤以外の洗剤やタワシは使わないでください。(変色したり、つやがなくなる恐れがあります。)
- ヘアキャッチは毎日点検清掃してください。
- 清掃後は元通りに取り付けてご使用ください。

お手入れのしかた

いつまでも美しく、清潔に、そして快適にご使用いただくために。

1 天井・壁・床・浴槽・ドア・カウンター・洗面器・便器

- やわらかい布に中性洗剤を含ませてふいてください。
(タワシや中性洗剤以外の洗剤は使わない) てください。
- 汚れを放置するとカビの原因になりますので、汚れがひどいによっては、ひんぱんに清掃してください。



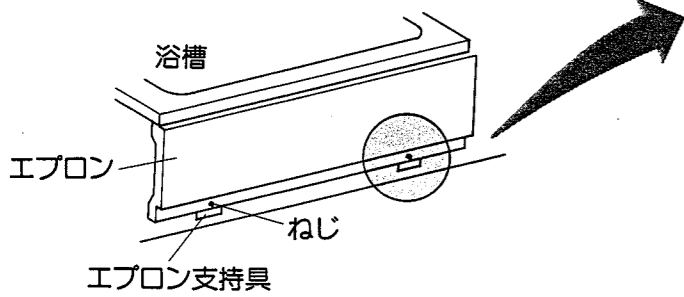
- 壁の目地部(コーキング部)についてはがれにより水もれの原因となるため、引っかかないように清掃してください。



(コーキング部がはがれた場合は、ポスシール(セメダイン)をご使用ください。)

2 エプロンの脱着のしかた

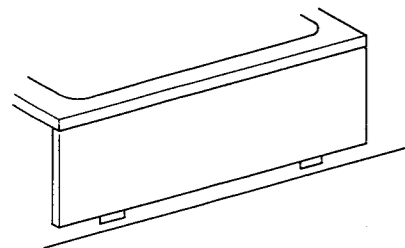
- エプロン支持具「ねじ止め式」の場合
(エプロン下端両側に「ねじ」が見えます。)



①ドライバーでエプロン支持具のねじを少しゆるめる。
ゆるめる

②エプロン支持具を上にあげて、一旦ねじを締めてください。
しめる
上げる

- 上記以外



③エプロンをおし上げて
浴槽

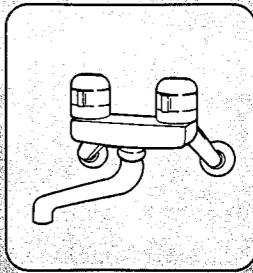
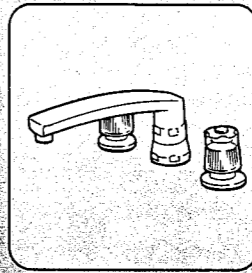
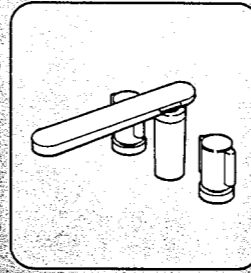
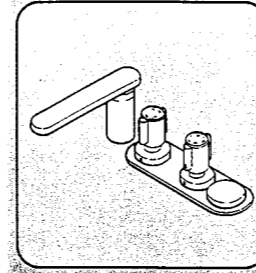
④手前に引いてはずしてください。
床パンのせき

おねがい

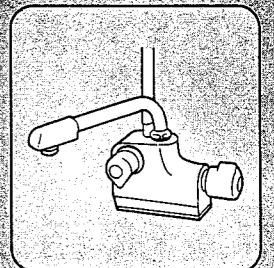
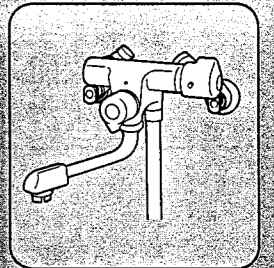
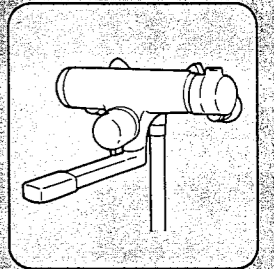
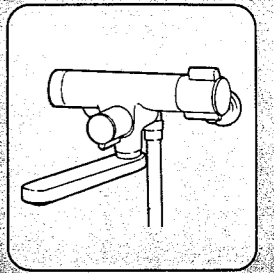
- 取り付ける時は、上記と逆の手順にて、エプロンを床パンのせきにしっかりとのせてください。
- エプロンを、足の上に落さないように気をつけてください。

混合水栓

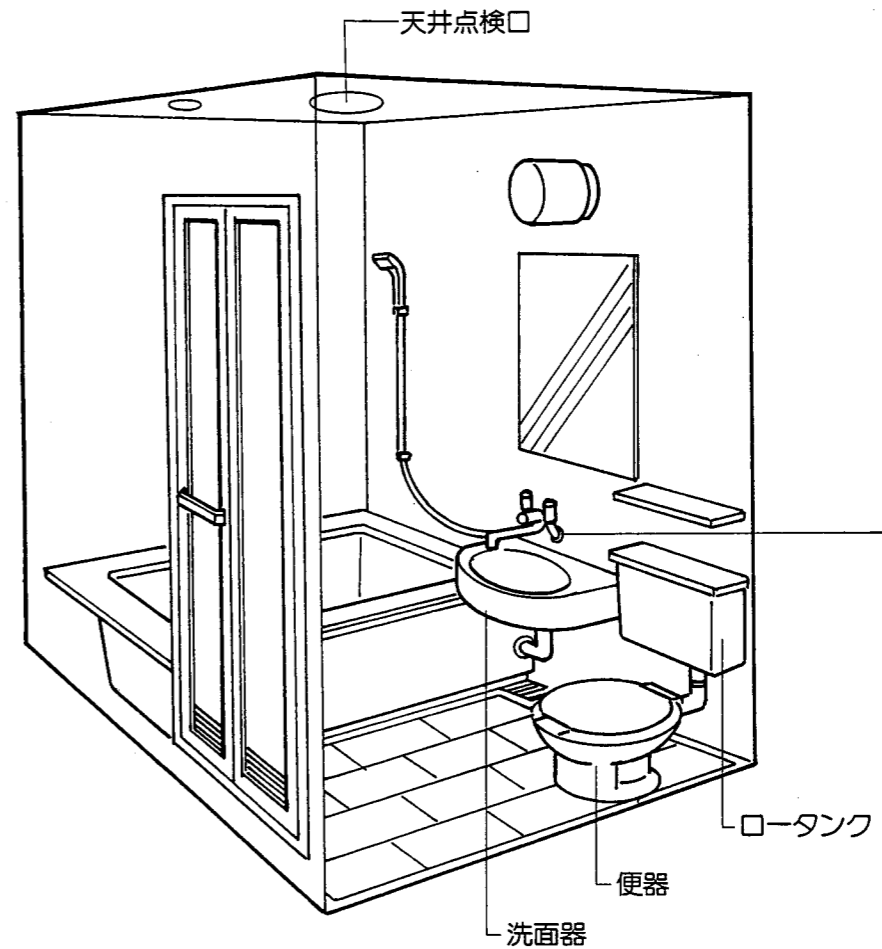
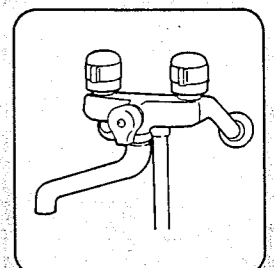
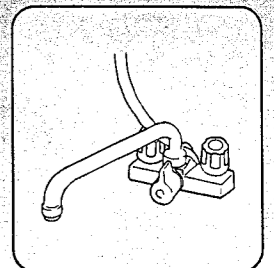
- 浴槽専用



- サーモ付

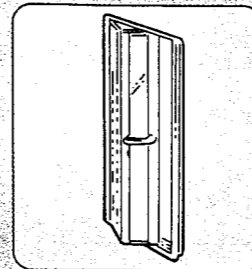


- 2ハンドル

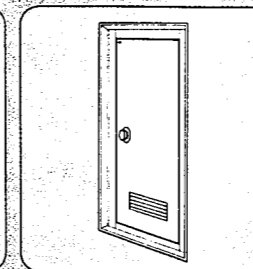


ドア

- 2枚折ドア



- フラッシュドア

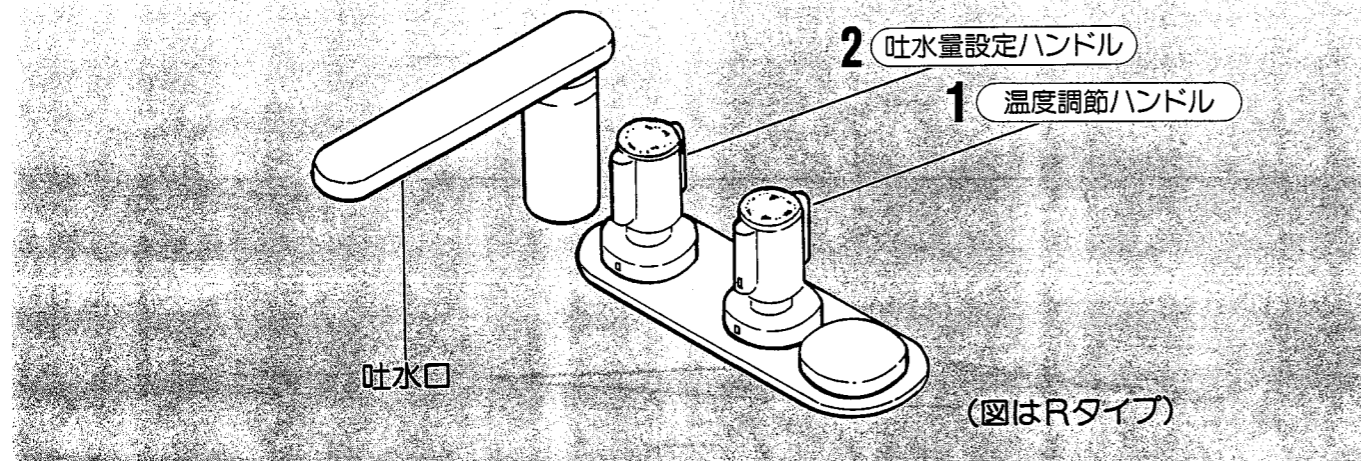


(トイレ、洗面付タイプ)

使いかた

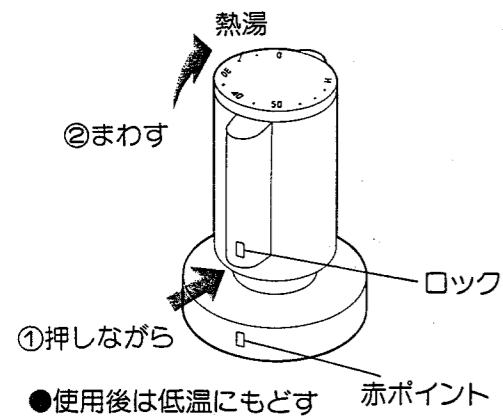
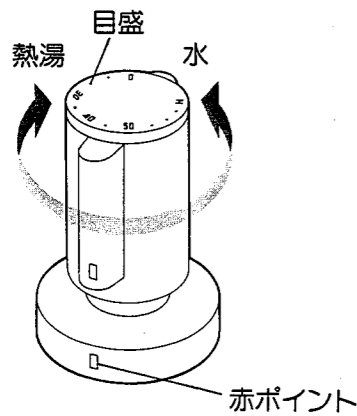
混合水栓

サーモ定量混合水栓(浴槽用)



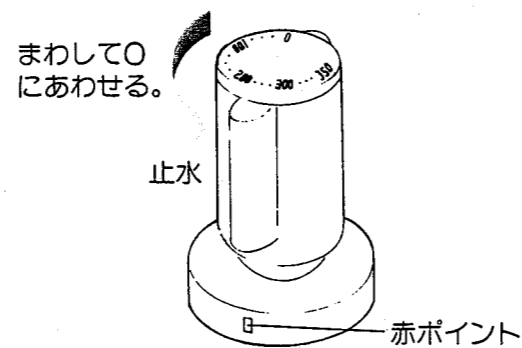
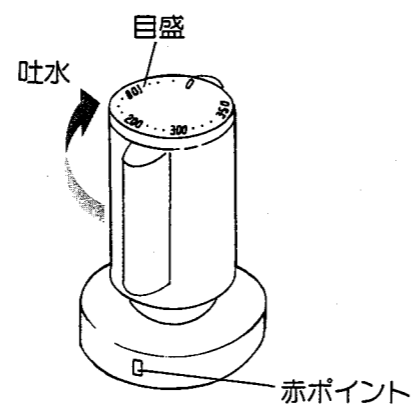
1 温度(目盛)を赤ポイントにあわせる

(目盛は°C)



2 吐水量(目盛)を赤ポイントにあわせる

(目盛はリットル)



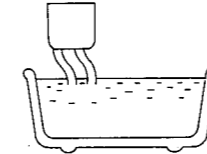
■くわしくは混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

使用上のご注意

必ずお守りください。

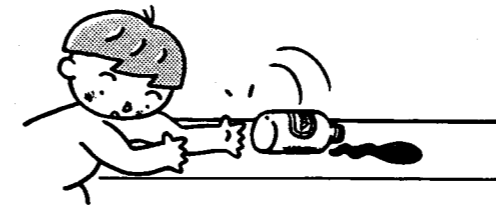
●浴室を傷めないために

循環式浄化温水器(24時間バス)に該当する機器は取り付けないでください。(浴槽表面の荒れ、退色等の変化が早まる可能性があります。)



※循環式浄化温水器は、当社浴槽では、アクリレージュバスのみ対応可能です。

毛染め剤などはすぐに洗い流してください。(変色のおそれがあります。)



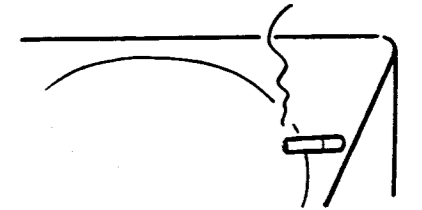
イオウ系・アルカリ系の入浴剤は使用しないでください。(浴槽や器具・配管部などをいためたり、水もれのおそれがあります。)



ロータンクへ投入式の芳香剤や薬品を入れる場合は、芳香剤・薬品の説明書をよく読んで、ご使用ください。(芳香剤・薬品が便器に流れ込み、便器のつまりの原因となります。)



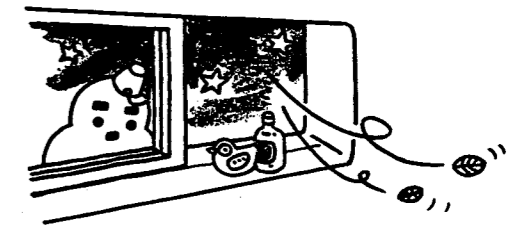
タバコの火などを置かないでください。(変色・変形のおそれがあります。)



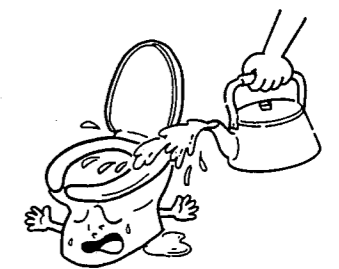
物を落とさないでください。(破損のおそれがあります。)



凍結が予想される時は、水抜きをしてください。(凍結破損で水もれし、家財などをぬらすおそれがあります。)



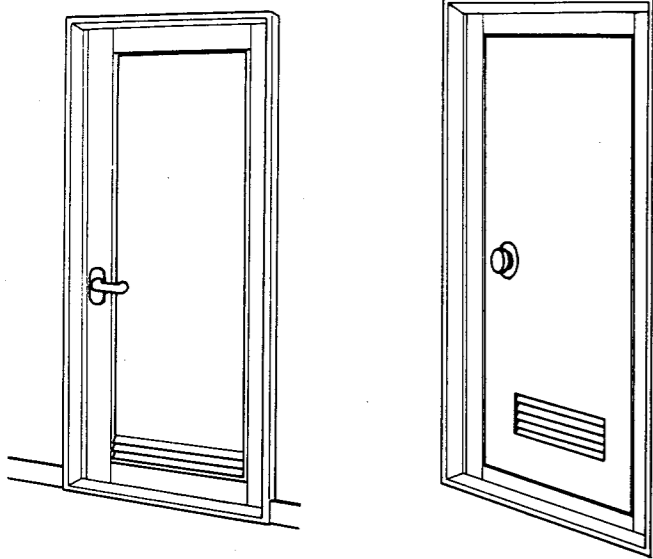
本体に熱湯や薬品をかけないでください。(変色や破損の原因となります。)



スイングドア

フラッシュドア

..... (1枚ドアの場合)

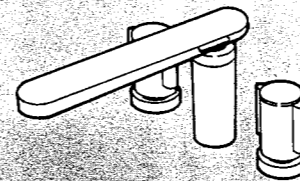


●下図①～③のようなドアロックがあります。

	浴室内からロックをかける、はずす	浴室外からロックをかける、はずす
①ノブのとき	<p>はずす かける つまみ</p>	<p>はずす かける コインなど ロック表示</p>
②ハンドルのとき	<p>はずす かける 開 つまみ</p>	<p>はずす かける コインなど ロック表示 開</p>
③ハンドルのとき	<p>ロックをはずす 開 ロックをかける</p>	<p>マッチ棒・ペンシルの先等によりロック芯棒を押し</p>

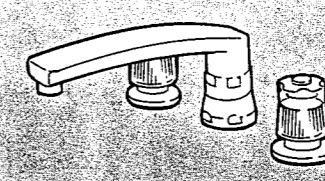
2ハンドル混合水栓(浴槽用)

2 湯用ハンドル (赤)
1 水用ハンドル (青)



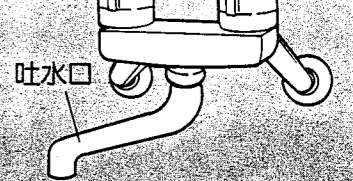
ハイデッキ型

2 湯用ハンドル (赤)
1 水用ハンドル (青)



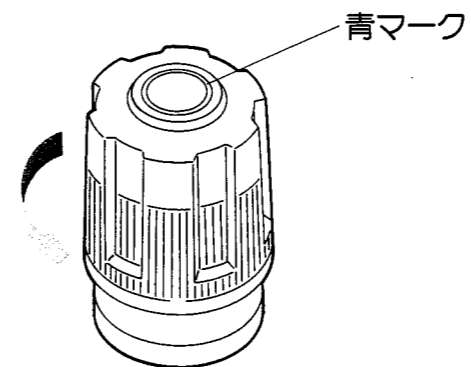
2ハンドルデッキ型

2 湯用ハンドル (赤)
1 水用ハンドル (青)

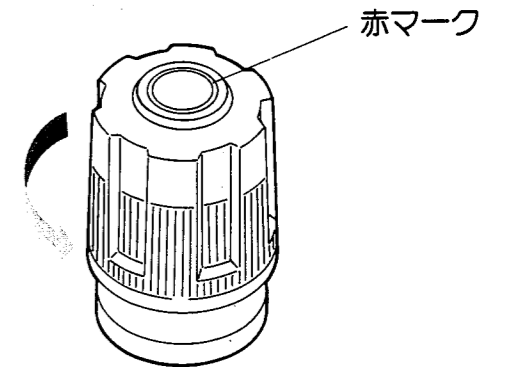


2ハンドル壁付型

1 水用ハンドル(青)をまわす



2 湯用ハンドル(赤)をまわし、適温にする



安全に関するご注意

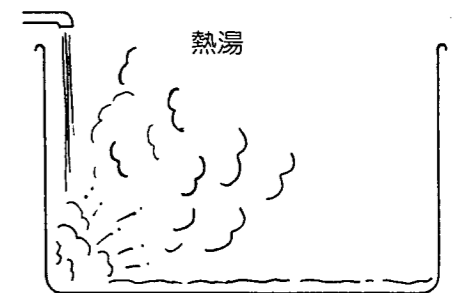
⚠ 注意

- 浴槽にお湯をためるときには、水とお湯の量を調節してください。(ヤケドの原因となります)



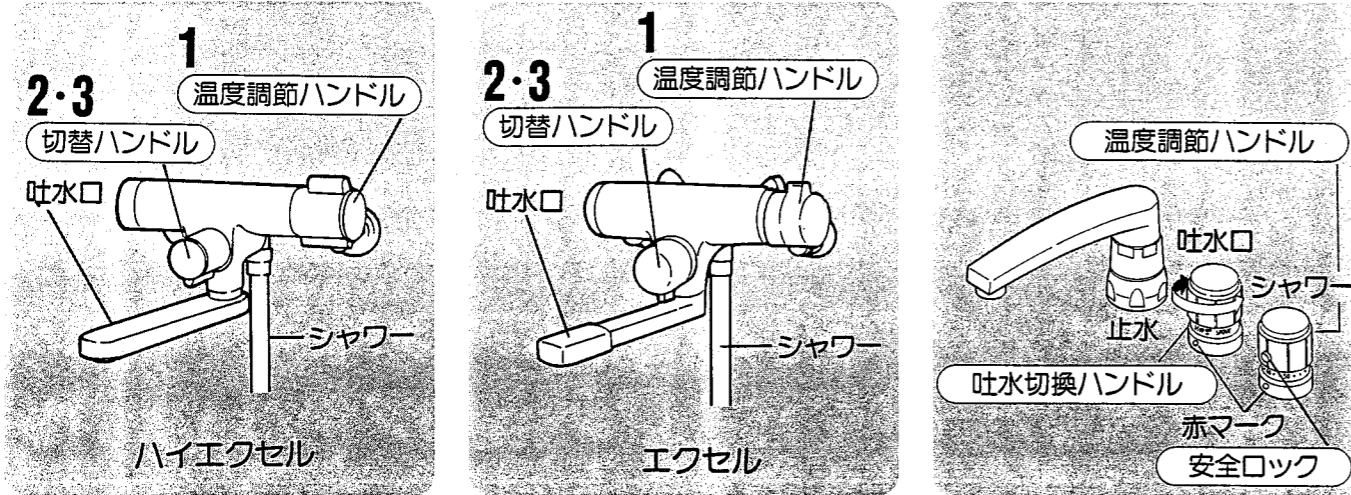
温度をよく確かめてお使いください。

お願い



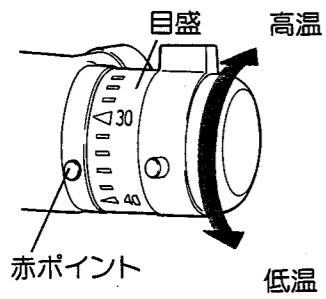
- 直接熱湯を入れないでください。

サーモ付混合水栓

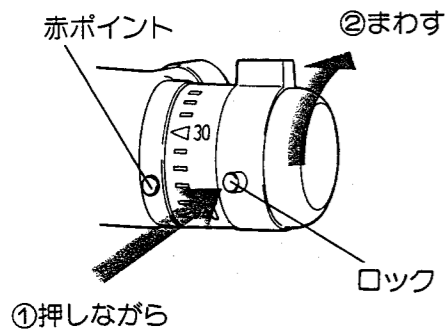


1 温度(目盛)をポイントにあわせる

(目盛は°C)



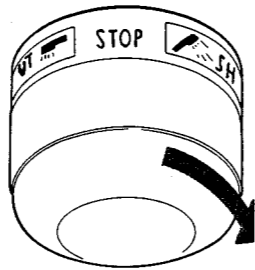
..... 45°C以上のとき



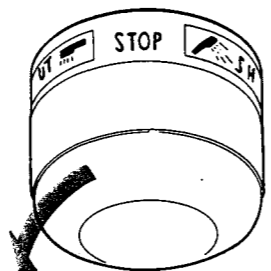
●使用後は低温にもどす

2 湯を出す

..... 吐水口より出すとき

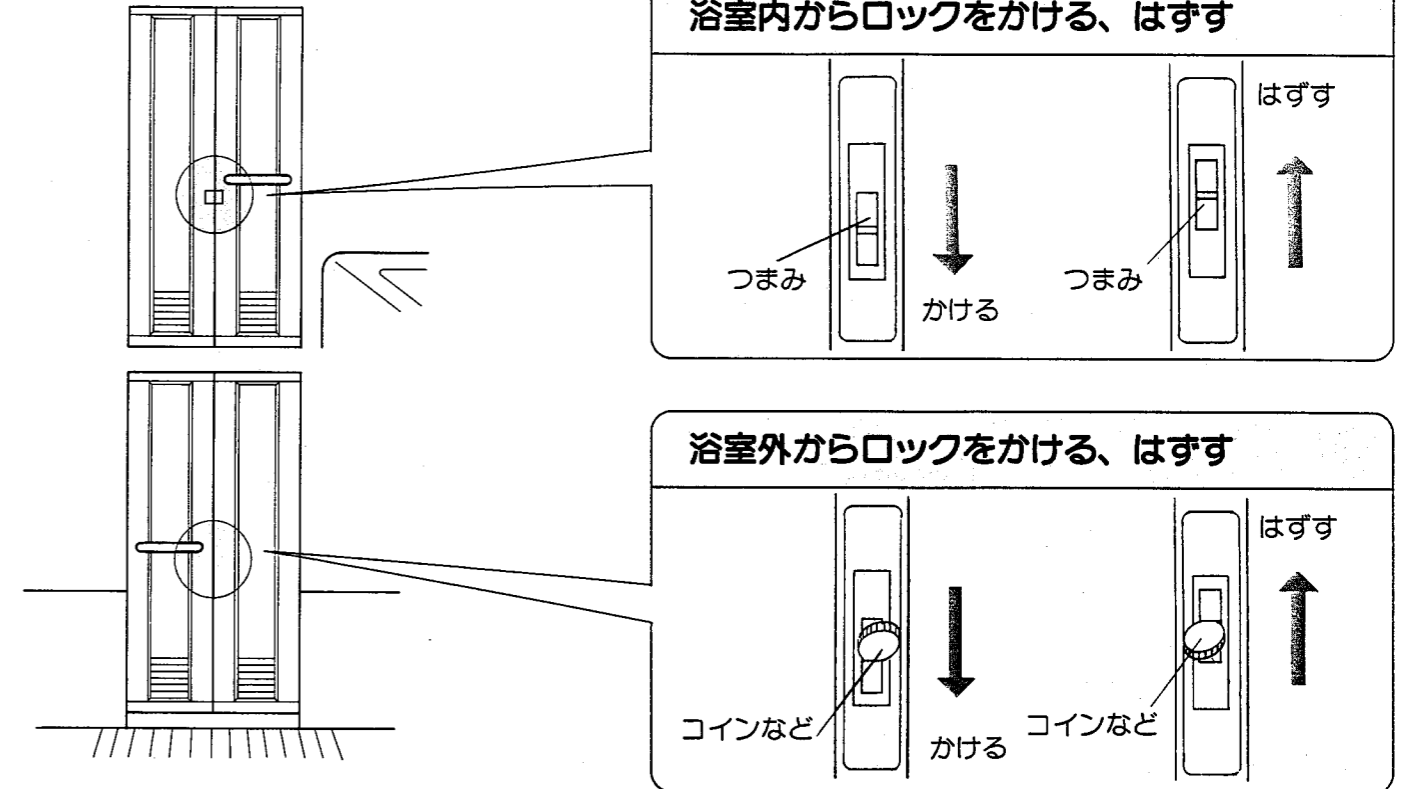


..... シャワーより出すとき

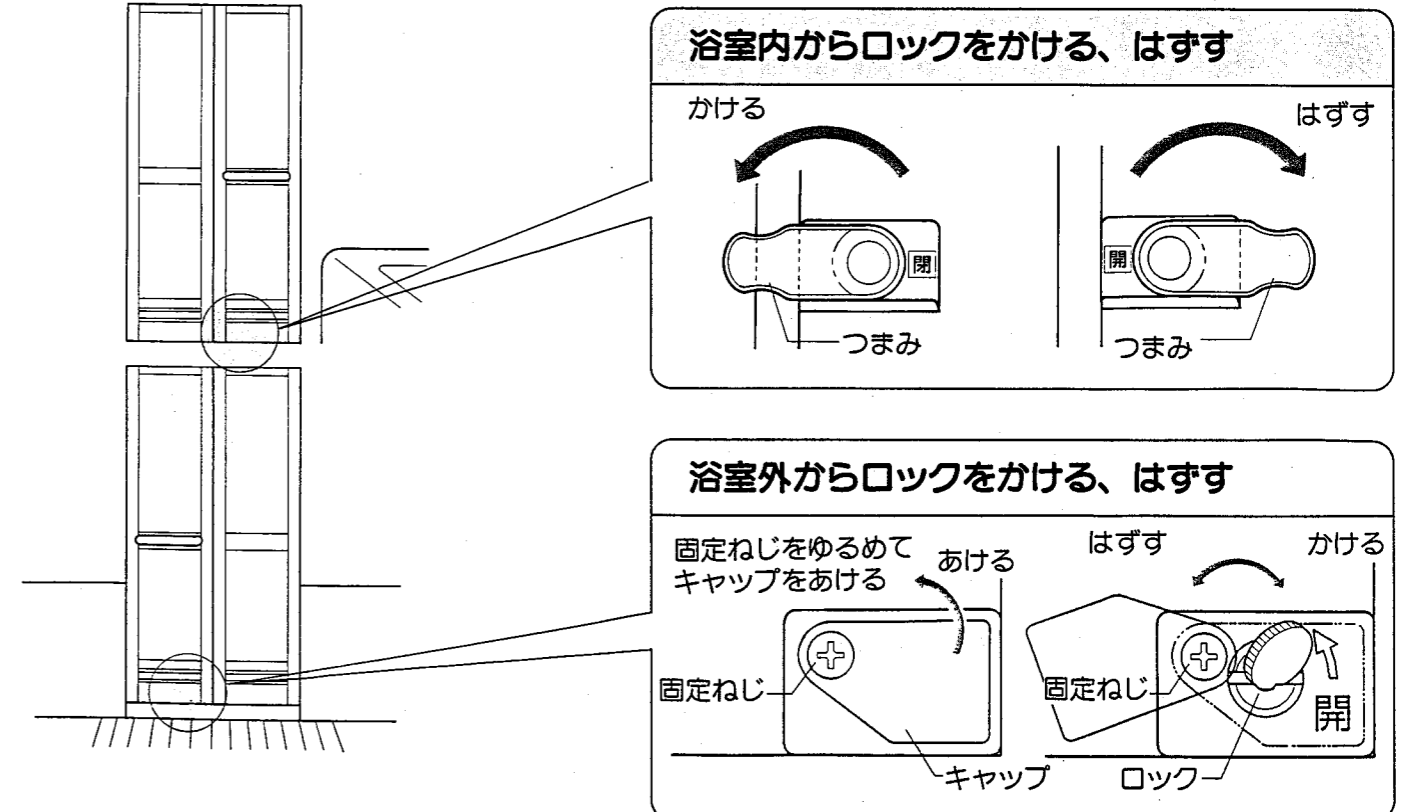


ドアロックをかける・はずす

2枚折デザインドア



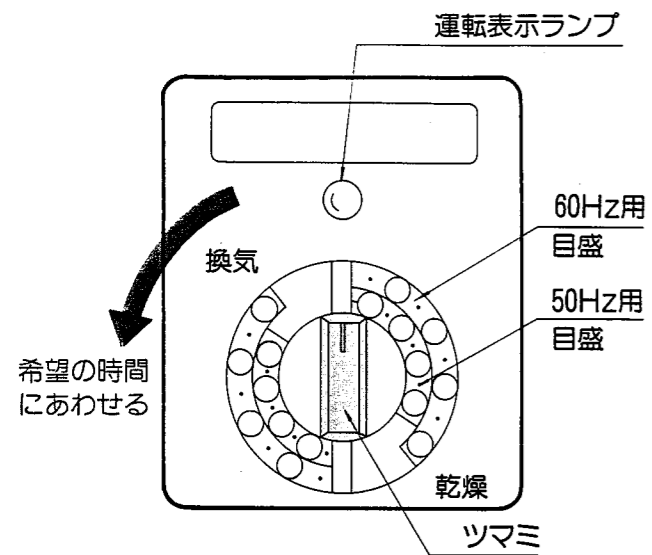
2枚折アルミドア



換気乾燥機

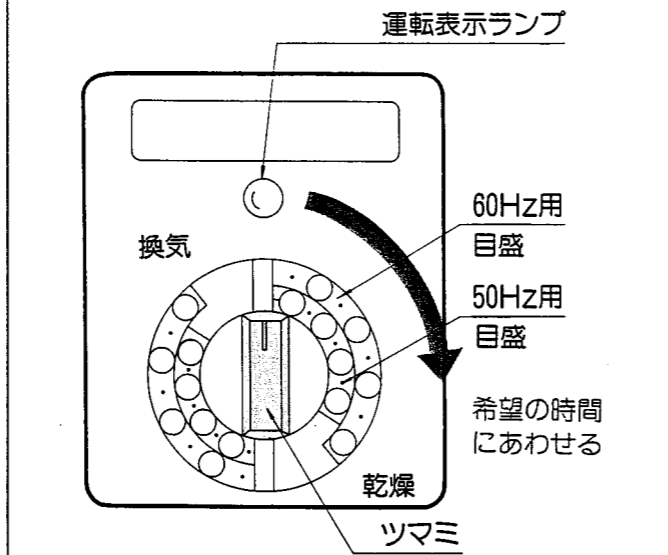
換気するとき

換気へつまみをまわす



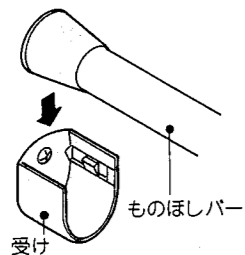
浴室を暖房するとき

入浴前に乾燥へつまみをまわす



洗濯物の乾燥をするとき

1 ものほしパーを壁の受けにはめ込む

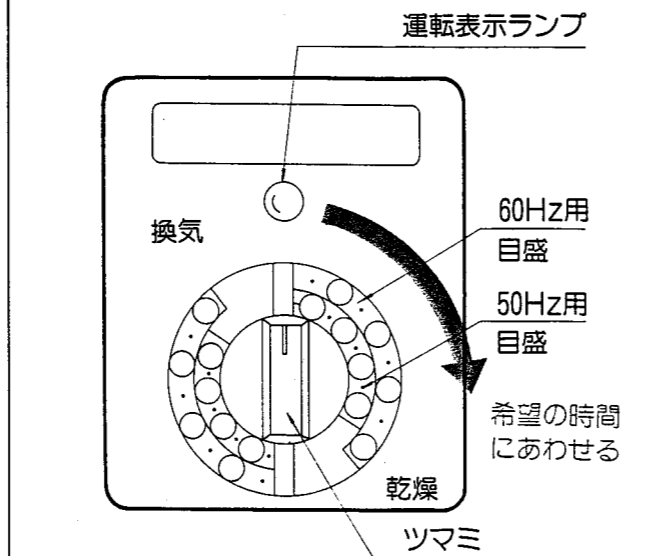


安全に関するご注意

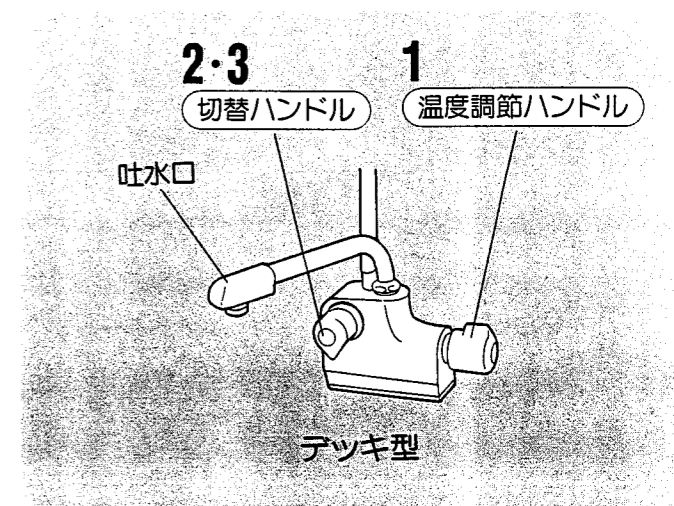
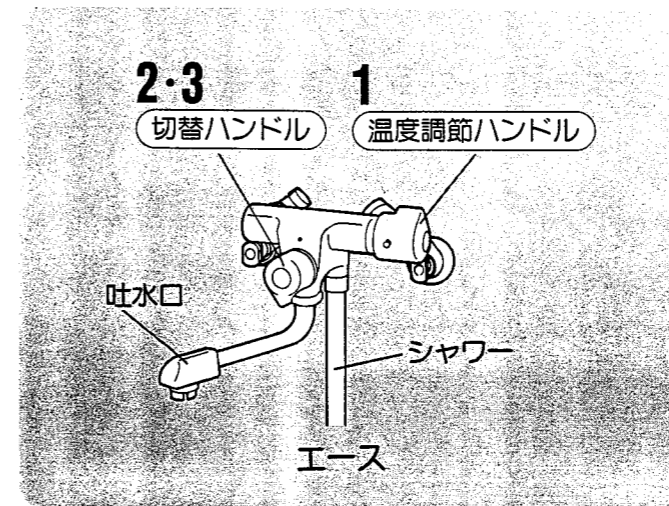
△ 注意

- ものほしパーは左右とも確実に壁の受けにはめ込んで使用ください。(落下事故の原因となります。)
- ものほしパーには、ぶらさがらないでください。(落下してケガをするおそれがあります。)

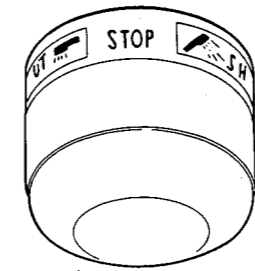
2 乾燥へつまみをまわす



■乾燥や暖房の時間など、くわしくは換気乾燥機の取扱説明書をご覧ください。



3 湯を止める



STOPまたは■にもどす

(切替ハンドルの表示は異なる場合があります)

おねがい

- ハンドルはゆっくりまわしてください。

安全に関するご注意

△ 注意

- お湯を使うときは、温度をよく確かめてお使いください。(ヤケドの原因となります。)
- 高温で使った後は、必ず目盛を40°C以下に戻してください。(ヤケドの原因となります。)
- 本体のお湯側は熱くなりますので、さわらないでください。(ヤケドの原因となります。)

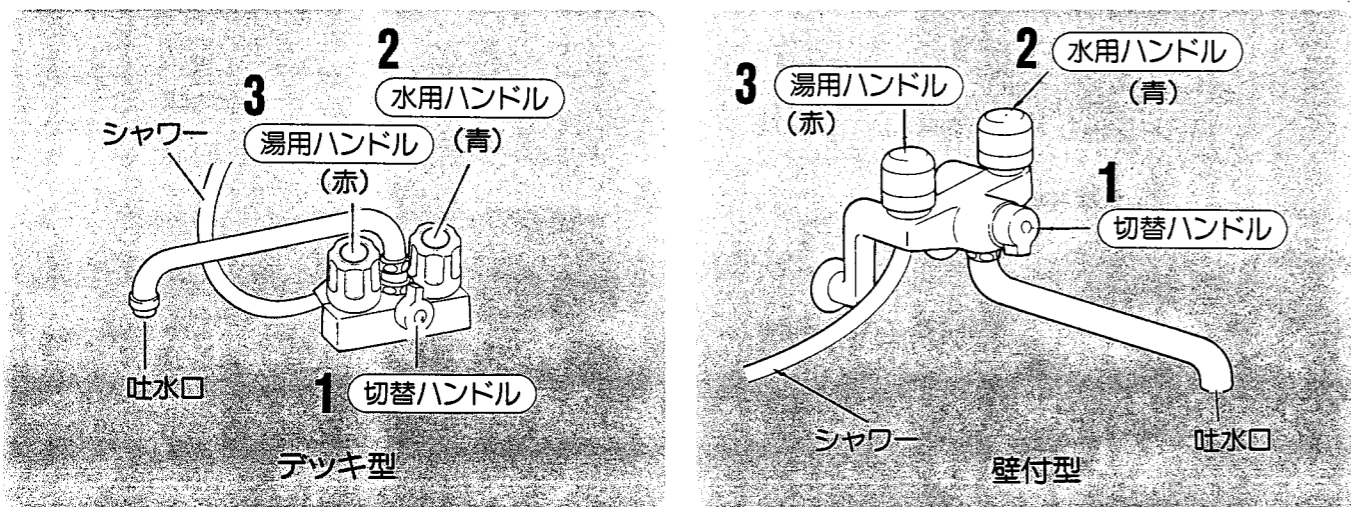
■くわしくは混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

● (1カ所)は注意ラベルを表しています。
● よくお読みいただき、正しく使用してください。

注意ラベル

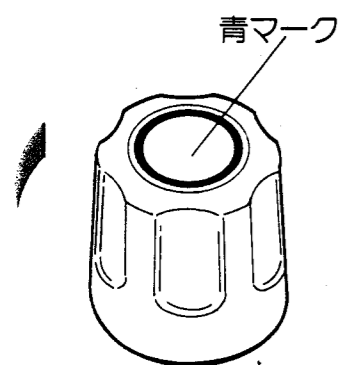
あつい
(高温注意)

2ハンドル混合水栓

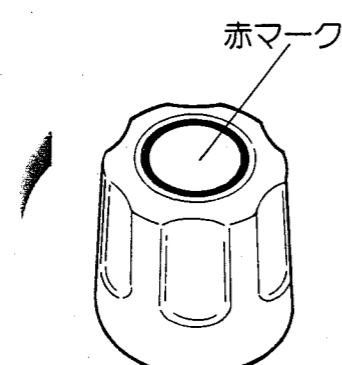


1 切替ハンドルをまわす	デスク型	壁付型
吐水口から湯を出すとき		
シャワーから湯を出すとき		
(一時的にとめるとき) ※一時止水付混合水栓の場合		

2 水用ハンドル(青)をまわす



3 湯用ハンドル(赤)をまわし、適温にする



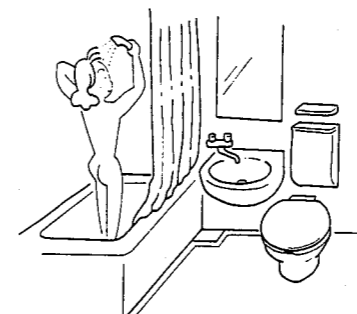
おねがい

- 使い終わったら必ず湯用、水用ハンドルをしめてください。

シャワー

使用上のご注意

- シャワーは浴槽内でカーテンを内側に引いてお使いください。



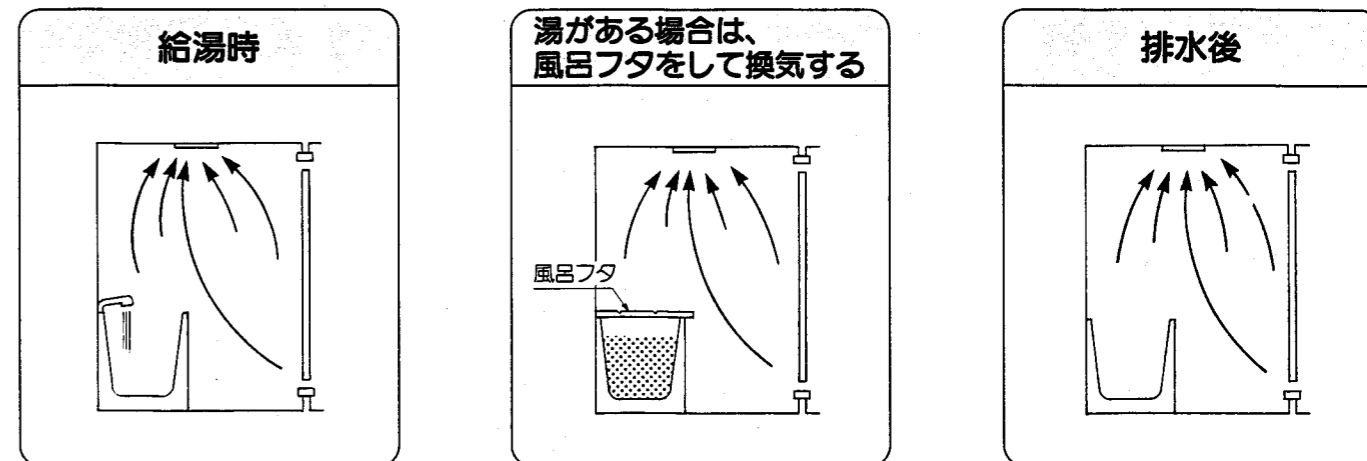
トイレ付タイプ

換気扇

換気のしかた

- 電源を「入」にする。(スイッチは浴室の外にあります。)
- 入浴後は、湿気が取れるまで十分換気をしてください。(カビや悪臭の発生の原因となります。)
※夜間(翌朝まで)換気をするをおすすめします。
※湯がある時は、風呂フタをして換気してください。

換気扇をまわすとき



- ※入浴中も換気扇の運転をおすすめしますが、換気扇内で発生した結露水が落下したり、浴室の扉のガラリを通じて室内より空気が流入して寒く感じる場合がありますのでご注意ください。
- くわしくは換気扇の取扱説明書をご覧ください。